

百人一首カルタ取り大会を行いました。

中等部による新年の恒例の行事、百人一首カルタ取り大会が、今年度も1月17日（水）に第2講堂で実施されました。

中等部では古文に親しむ、という目的で、1年生の時から百人一首のテキストを手にはしていますが、大会が近づくにつれ、休み時間にテキストを食い入るように見て覚えようとしている生徒、事前に練習試合を行う学年など、大会での勝利に向けた意気込みを感じさせる雰囲気が高まっていました。

対戦は、学年の垣根を越えておこなわれました。4つのグループで1チームを作り、それぞれのグループが8首を取り合います。上の句の最初の一文字目を聴いた瞬間に、素早く反応して札を取る生徒、早々に札を見つけてはいるのですが、「お手つき」をしないように、下の句が読まれてから恐る恐る札を取る生徒、それとは逆にお手つきをおそれずに果敢にチャレンジする生徒など、それぞれの個性が表れ、緊張感とほほえましさが入り交じった光景が随所に見られました。試合が進むにつれ、応援の拍手にも熱が入り、勝利を目指してそれぞれのクラスが一体となったためか、どの試合も接戦が繰り広げられました。最後は3年A組が最上級生としての貫禄を存分に見せ、優勝を勝ち取りました。

グループに分かれて対戦！



対戦前に札の並びをよくみて頭に記憶しよう



下の句の札はこれに違いない！！

